

# 能登棚田米通信 Vol.2 令和3年5月

## (1) 生育概況

田植え作業は順調に進み、田植え盛期は前年より1日早い5月6日となっています。

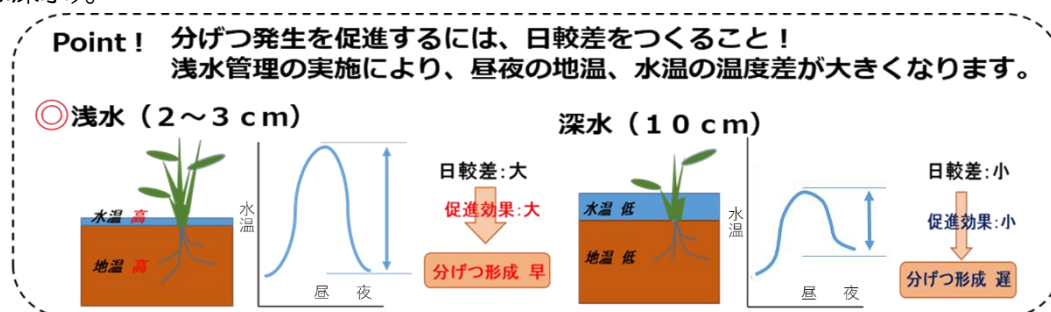
田植え以降、低温や強風の日がありましたが、植え傷みは少なく徐々に活着して葉色の発現も見られ始めています。

今後1か月の気温は高温と予想されることから、**ガス沸きが激しくなる**ことが予想されるので、田干しでガス抜きをしっかりと行いましょう。

## (2) 今後の管理のポイント（初期成育が重要！）

### 1. 水深2～3cmの浅水管理！

浅水管理で地温を上げ分けつの発生を促進！！（ただし、強風や極端な低温の場合は深水）。



### 2. 田干しは、田植え2週間後から！

田植え後2週間経って葉色が薄い場合はガス沸きによる影響が考えられるので田干しを始めてください。

田干し方法は、自然落水してから2日程度、地表面を露出させます。その後入水し自然落水を待ってから、また2日程度、地表面を露出するのを中干しまで2～3回繰り返します。

### 3. 田植え1ヶ月後には中干し開始！

浅水管理や田干しを挟み順調に生育が進むと田植え1ヶ月後には中干し開始できる草姿となります。

## 中干しの効果

- ①無駄な分けつの発生を抑制
- ②根が発達し、稲の活力を高める
- ③根を地中深く張らせることにより、倒伏を防ぐ
- ④田面が固くなり、コンバイン収穫の作業性が向上

→未熟粒、くず米の減少

R2年産の格落ち理由の  
1位は未熟粒で5.4%！

## ○中干しの開始時期の目安

品 種	中 干 し 開始茎数	開始時期 の 目 安	平 年 の 開始時期	期 間
コシヒカリ	15本/株 (目標穂数の7割)	田植え1ヶ月後もしくは 遅くとも茎数15本/株 に達した時期	6月6日頃	1ヶ月程度

## ◆棚田の溝切作業について

棚田は水環境が悪いことから溝切を行い、迅速な水管理を行っています。  
しかし、最後の徹底がされていない圃場も見受けられますので、再度確認しましょう！



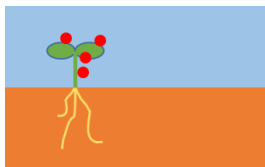
(良くない例)  
溝が繋がっていない場合もありますので、溝はきちんと繋げましょう！

## ◆中・後期除草剤の使用について

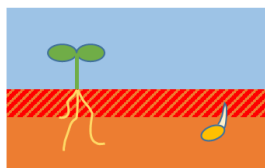
対象雑草名		除草剤名	散布量	留意点
ノビエ	水持ちの 良いほ場	ヒエクリーン 1キロ粒剤 1成分	1kg/10a	湛水散布（7日間止め水） 移植後15日～ノビエ4葉期 （収穫45日前まで）
	水持ちの 悪いほ場	クリンチャー 1キロ粒剤 1成分	1.5kg/10a	湛水散布（7日間止め水） 移植後25日～ノビエ5葉期 （収穫30日前まで） ※発生しているヒエのみに効く
マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズカヤツリ、オモダカ等 （ノビエ以外）		バサグラン粒剤 1成分	3～4kg/10a	落水して散布 移植後15～55日 （収穫60日前まで）

- ・ほ場の中に雑草が残っていると、カメムシが集まりやすくなります。雑草が大きくなる前に中後期除草剤により除草を行いましょう。
- ・農道や畦畔の除草は7月10日までにを行い、カメムシの産卵場所や生息場所をなくしましょう。

### 除草剤の種類別の特徴について



○茎葉処理剤（クリンチャー、バサグラン等）  
茎や葉から吸収されて雑草を枯らせる。今生えている雑草に有効。これから生えてくる雑草には効果はない。即効性の剤が多い。



○土壌処理剤（初期剤等）  
土壌の表面に薬剤の層（処理層）を作る。これから生えてくる雑草の芽や今生えている雑草の根から吸収されて雑草を枯らせる。残効性が長い。

その他、これら2つの性質を併せ持つ剤（ヒエクリーン等）もあります。

◎その他、能登棚田米や栽培管理についてご不明点がありましたら、お近くのJAまたは、奥能登農林総合事務所までお問い合わせ下さい。